

# シティズンシップ教育を取り入れた年間学習指導計画表

## － 目次 －

### I 世界史B

愛知県立豊田北高等学校教諭	南里 謙介
愛知県立安城南高等学校教諭	立松 和也

### II 日本史B

愛知県立一宮高等学校教諭	堀田 剛史
--------------	-------

### III 地理A

愛知県立津島東高等学校教諭	羽土 文彦
---------------	-------

### IV 地理B

愛知県立美和高等学校教諭	吉原 正記
--------------	-------

### V 現代社会

愛知県立幸田高等学校教諭	関谷 雅樹
--------------	-------

### VI 倫理

愛知県立知立東高等学校教諭	相原 久美
---------------	-------

### VII 政治・経済

愛知県立東海南高等学校教諭	堀田 庸平
---------------	-------

**I 世界史B** (単元の括弧内の数字は授業時間数)

単元	目 標	学習テーマ	【能力】ねらい
諸 地 域 世 界 の 形 成  (70)	人類は各地の自然環境に適応しながら農耕や牧畜を基礎とする諸文明を築き上げ、やがてそれらを基に、より大きな地域世界を形成したことを把握させる。	ハンムラビ法典	<p><b>【意識】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>古代メソポタミアの多様な民族の侵入状況と、その多様な民族をまとめるためにハンムラビ法典が制定されたことを知らせる。これにより、人権・尊厳の尊重といった他者とのかかわりに関する意識や治安維持の視点に基づく社会的規範に関する意識を高めさせる。</li> </ul> <p><b>【スキル】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>ハンムラビ法典を題材とし、復讐法・身分法の原則に気付かせる。これにより、自己・他者・社会の状態や関係性を客観的・批判的に認識・理解するためのスキルを身に付けさせる。</li> </ul>
		古代メソポタミアのアッシリアとアケメネス朝ペルシアの統治体制の違い	<p><b>【意識】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>服属した民族の風習を認めなかったアッシリアが短期間で滅亡した一方で、異文化に寛容であったアケメネス朝ペルシアは比較的長く続いた。これらを通じて、人権・尊厳の尊重といった他者とのかかわりに関する意識を高めさせる。</li> </ul>
		古代ギリシアの直接民主政	<p><b>【スキル】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>アテネの「民会」をはじめ、直接民主政の仕組みについて理解させる。また、「デマ」の語源を取り上げつつ、民主政の墮落した形態とされる衆愚政治についても取り上げ、情報や知識を効果的に収集し、正しく理解・判断するためのスキルを身に付けさせる。</li> </ul>
		ローマの共和政及び帝政	<p><b>【知識】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>ローマの領土拡大と平民の権利拡大がほぼ同時期に行われていたことを理解させる。また、皇帝による統治である元首政が始まった後も、参政権をもつ市民が優遇された点について取り上げ、政治分野での活動に必要な知識を深めさせる。</li> </ul>

諸地域世界の形成 (70)			<b>【スキル】</b> <ul style="list-style-type: none"> <li>ローマの領土拡大と平民の権利拡大の歴史を学ぶ中で、軍事参加と参政権が関連し合っていたことに気付かせる。そのことを通じて、自己・他者・社会の状態や関係性を客観的・批判的に認識・理解するためのスキルを身に付けさせる。</li> </ul>
			<b>【スキル】</b> <ul style="list-style-type: none"> <li>「パンとサーカス」を取り上げ、なぜローマ皇帝がこの政策を実施したかを考察させる。市民の参政権について考えさせ、そのことを通じて、自己・他者・社会の状態や関係性を客観的・批判的に認識・理解するためのスキルを身に付けさせる。</li> </ul>
諸地域世界の交流と再編 (35)	ユーラシアの内陸及び海域のネットワークを背景に、諸地域世界の交流が一段と活発になり、新たな地域世界の形成や再編を促したことを把握させる。	イスラーム教	<b>【意識】</b> <ul style="list-style-type: none"> <li>「六信五行」の「喜捨」により裕福な者は医療施設を作っていたこと等、イスラーム教徒の果たすべき役割を通じて、社会に関与し貢献しようとする意識を高めさせる。</li> </ul>
		自由都市や帝国都市の成立	<b>【意識】</b> <ul style="list-style-type: none"> <li>当時「都市の空気は自由にする」と言われていたこと、また、ロンバルディア同盟やハンザ同盟のように商人を中心に領主の支配から自立する運動を起こし、自治権を獲得した都市があったことを取り上げ、社会への参画に関する意識を高めさせる。</li> </ul>

<p>諸地域世界の交流と再編 (35)</p>		<p>イギリスの大憲章・シモン＝ド＝モンフォールの乱・模範議会の成立</p>	<p>【意識】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>課税で財政難を乗り切ろうとした国王に対する牽制であり、新たな課税を行う際には、貴族と都市の代表による議会の承認が必要となったことを取り上げる。また、王権が制限され、国王といえども貴族・都市の要求を聞き、政治に取り組んだことも取り上げる。これらを通じて、社会への参画に関する意識を高めさせる。</li> </ul>
<p>諸地域世界の結合と変容 (60)</p>	<p>アジアの繁栄とヨーロッパの拡大を背景に、諸地域世界の結合が一層進んだことを把握させるとともに、主権国家体制を整え工業化を達成したヨーロッパの進出により、世界の構造化と社会の変容が促されたことを理解させる。</p>	<p>オランダのスペインからの独立</p>	<p>【意識】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>オランダ独立戦争の原因の一つは、新教国のオランダに対し支配国のスペインが旧教政策を実施したことである。反乱の経緯を取り上げ、人権・尊厳の尊重や多様性・多文化の尊重といった他者とのかかわりに関する意識を高めさせる。</li> </ul>
		<p>ピューリタン革命と名誉革命</p>	<p>【意識】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>国王の専制政治に対して議会は、権利の請願、審査法、人身保護法など、国王の権利を制限する法律を次々に可決した。両革命を経た後の議会政治及び人民の権利について取り上げ、社会への参画に関する意識を高めさせる。</li> </ul>
		<p>ラス＝カサスの活動</p>	<p>【意識】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>スペインによる南米の先住民の扱いに触れた後に、スペイン植民地で先住民の保護のため立ち上がったラス＝カサスを取り上げ、人権・尊厳の尊重、多様性・多文化の尊重といった他者とのかかわりに関する意識を高めさせる。</li> </ul>
		<p>ロックの思想</p>	<p>【知識】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>為政者の権力乱用に対し、人民は契約を解く権利である革命権を有するとして、名誉革命を擁護した。「革命権」を認めたロックの思想について取り上げ、民主主義の仕組み等、政治分野での活動に必要な知識を深めさせる。</li> </ul>

諸 地 域 世 界 の 結 合 と 変 容  (60)	アメリカの独立	<b>【意識】</b> ・本国政府が決めた印紙法に対して、「代表なくして課税なし」と抗議し撤回させた。また、独立戦争が始まってしばらくは、一般の人々の独立への意識は低かったが、『コモン=センス』が出版されて以降、意識は急速に独立へと変化していった。こうした動きを含めた独立運動の経緯について取り上げ、社会への参画に関する意識を高めさせる。
		<b>【知識】</b> ・独立後につくられた政治体制では三権分立が徹底された。その政治体制を取り上げ、政治分野での活動に必要な知識を深めさせる。
	フランス革命	<b>【意識】</b> ・めまぐるしく政治体制が変遷するが、それぞれに支持基盤は異なっていた。政治体制の変遷とともにその政策を取り上げ、それが支持基盤にとってどのように有効であったかを取り上げることを通じて、社会への参画に関する意識を高めさせる。
	イギリスの産業革命	<b>【意識】</b> ・産業革命の進展により労働者、とりわけ女性や子供に対する長時間低賃金労働が問題となったことや、生活環境の悪化に触れた当時の史料を取り上げ、社会への参画に関する意識を高めさせる。
	イギリス保守党・自由党の二大政党政治	<b>【知識】</b> ・19世紀には、保守党のディズレーリと自由党のグラッドストーンを中心に議会政治が運営された。アイルランド自治をめぐる保守党及び自由党のそれぞれの特徴が反映された政策を取り上げ、議会政治の伸長や民主主義の仕組み等、政治分野での活動に必要な知識を深めさせる。
南北戦争	<b>【意識】</b> ・奴隷制をめぐる南北の対立について取り上げ、人権・尊厳の尊重の視点から他者とのかかわりに関する意識を高めさせる。	

地球世界の形成 (80)	科学技術の発達や生産力の著しい発展を背景に、現代世界は地球規模で一体化し、相互依存を強めたことを理解させる。また、国際対立と国際協調、科学技術と現代文明などの観点から20世紀の歴史の特質を考察させ、未来を展望させる。	第一次世界大戦前のインド独立運動	<p>【意識】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・インドの人々の独立に向けた一連の動きを取り上げ、インド国民会議が親英的組織から反英的組織へと転換した背景から、社会への参画に関する意識を高めさせる。</li> </ul> <p>【スキル】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・イギリスの植民地支配の例として内陸部を結ぶ鉄道と沿岸部を結ぶ鉄道のそれぞれの運賃を比較し、その非合理性がインドの人々の民族意識を高めたことを取り上げる。これにより、自己・他者・社会の状態や関係性を客観的・批判的に認識・理解するためのスキルを身に付けさせる。</li> </ul>
		中国の白話運動と五・四運動	<p>【意識】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・第一次大戦後、愛国運動である五・四運動の発展により、中国政府もヴェルサイユ条約の調印を拒否せざるを得なかった状況を理解する。中国民衆の活動が、中華民国政府の対応を変化させたことについて取り上げ、社会への参画に関する意識を高めさせる。</li> </ul> <p>【スキル】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・文語体から口語体への移行を推進した意味について、日本の文語文と口語文を比較し、ワークシートを用いてグループで討論する。また、魯迅の略歴と狂人日記を読み、狂人とは誰かをグループで考察させる。グループ討論を通じて、自己・他者・社会の状態や関係性を客観的・批判的に認識・理解するためのスキルを身に付けさせる。</li> </ul>
	インドの非暴力・不服従運動	<p>【意識】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・塩の行進や度々行われた牢獄での断食などを取り上げ、ガンディーの「非暴力・不服従」運動の理念を理解する。このガンディーの理念を通じて、人権・尊厳の尊重、及び多様性・多文化の尊重の視点から他者とのかかわりに関する意識を高めさせる。</li> </ul>	

地球世界の形成 (80)	世界恐慌	<p><b>【スキル】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>世界恐慌時のアメリカの選挙を再現する。共和党のフーヴァーと民主党のF. ローズヴェルトの両候補の考えを提示し、選挙を実施する。選挙結果とニューディール政策の内容を理解し、当時のアメリカ国民の選択を考察する。選挙を体験することにより、選挙におけるスキルを身に付けさせる。</li> </ul>
	国際連合	<p><b>【意識】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>国連気候変動枠組条約締約国会議（COP）をシミュレーションする。アメリカ、EU、日本、中国などの代表を各グループで割り振り、温室効果ガス削減に向けて、議論させる。グループの討論を通じて、国連での議決の難しさや国際法の限界などを理解し、議論の重要性を認識させる。</li> </ul>
		<p><b>【知識】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>国際連合の組織等について知らせるとともに課題を取り上げ、政治分野での活動に必要な知識を深めさせる。</li> </ul>
	ヴェトナム反戦運動やプラハの春	<p><b>【意識】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>ヴェトナム反戦運動が自由と平和を求めた民衆の運動であったことに触れ、映画「グリーンベレー」と「7月4日に生まれて」の一場面を紹介し、人権・尊厳の尊重、多様性・多文化の尊重の視点から他者とのかかわりに関する意識と社会への参画に関する意識を高めさせる。</li> </ul>
		<p><b>【知識】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>戦争をはじめとした一連の出来事、及び運動の経緯について取り上げ、政治分野での活動に必要な知識を深めさせる。</li> </ul>
	公民権運動	<p><b>【意識】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>憲法の規定と黒人差別の現状との差異について取り上げ、人権・尊厳の尊重、多様性・多文化の尊重の視点から他者とのかかわりに関する意識と社会への参画に関する意識を高めさせる。</li> </ul>

地球世界の形成 (80)		<p><b>【意識】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・キング牧師の演説を聴き，運動の成果を取り上げ，政治に参画する意識を高めさせる。また，オバマ大統領の演説と比較し，現在のアメリカにおいても，人種差別が大きな問題であることを意識させる。</li> </ul>
	ソ連の解体・東欧の革命・ドイツの統一	<p><b>【意識】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・1990年の東西ドイツ統一に対するフランス大統領，イギリス首相の談話を読み，ヨーロッパにおけるドイツの地位を理解する。また，大戦後のドイツをめぐる国際情勢（ドイツ・ベルリンの分割占領，ベルリン封鎖，ベルリンの壁建設，ベルリンの壁崩壊，ドイツの統一）を振り返る。さらに，自由化・民主化の進展について取り上げ，人権・尊厳の尊重，多様性・多文化の尊重の視点から他者とのかかわりに関する意識と社会への参画に関する意識を深めさせる。</li> </ul>
		<p><b>【知識】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ソ連の成立，干渉戦争，東西冷戦の成立と終結，ソ連の崩壊，東欧革命など一連の出来事及び経緯について触れ，現在に直接つながる近現代史の必要な知識を深めさせる。</li> </ul>

## Ⅱ 日本史B (単元の括弧内の数字は授業時間数)

単元	目 標	学習テーマ	【能力】ねらい
原始・古代の社会・文化と東アジア (52)	原始社会の人々の生活の変化、大和朝廷による統一、律令に基づく古代国家の成立と推移及び文化の形成について、東アジア世界の動きとも関連付けて理解させる。	儒教と仏教の日本伝来	<b>【知識】</b> ・文化の多様性を尊重する姿勢を念頭に置きながら、大陸から伝来した宗教的な倫理規範の形成について理解させるとともに、仏教文化の萌芽についての知識を身に付けさせる。
		律令制の制定	<b>【スキル】</b> ・「律令」の編纂理由について、当時の東アジア情勢を背景に考察させ、また律令の内容について検討させることで、律令国家が目指した国家像と民衆支配の在り方について考察させる。特に公民の負担の重さ、また浮浪・逃亡・偽籍などの忌避行動を見ることで、「税」の果たす社会的重要性や問題点について考えさせる。
		税制の変化と社会変動	<b>【知識】</b> ・10世紀における人頭税から土地への課税対象の変換を、当時の社会情勢から理解させる。「税」の変容の在り方について知識を身に付けさせ、「税」について考える契機とさせる。
		遣唐使と天平文化	<b>【知識】</b> ・遣唐使のもたらした技術・文化に代表される天平文化の国際性を知らせ、古代における文化伝播・国際交流の重要性に関する知識を身に付けさせる。
		国司の圧政	<b>【意識】</b> ・9～10世紀、日本の地方行政は国司に権力が集中し、その苛政に対する百姓の訴えや武力闘争が頻発していた。その一例として「尾張国郡司百姓等解文」を中心に扱い、地方における民衆の政治参画の在り方についての意識を高めさせる。
		国風文化	<b>【知識】</b> ・かな文字に代表される国風文化の成立を取り上げ、自国の文化・伝統の歴史の重要性について知識を深めさせる。

<p>中世の社会・文化と東アジア</p> <p>(46)</p>	<p>武家政権の成立から戦国大名の時代に至る武家社会の進展と文化の展開について、東アジア世界の動向と関連付けて理解させる。</p>	<p>院政期の文化</p>	<p><b>【知識】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>院政期は多くの絵巻物が作成され、絵画史においても重要な時期である。日本の「マンガ文化」の原点である「伴大納言絵巻」や「鳥獣戯画」などの絵画資料の重要性に着目させる。</li> </ul>
		<p>御成敗式目の制定</p>	<p><b>【意識】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>日本最初の武家法である「御成敗式目」を通して、法（規範）作りに関する知識を身に付けさせるとともに、現代の法律や、校則などとの比較・検討を通して、「法」についての意識を高めさせる。</li> </ul>
		<p>地頭の庄政と、農民の窮状</p>	<p><b>【スキル】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>鎌倉時代、紀伊国阿氏河庄上村の農民等は地頭湯浅宗親の非法（農民収奪の強化）を、たどたどしい仮名文で訴状をもって、その窮状を領家に訴えた。農民の抵抗の有り様とその闘争スタイルから、民衆の政治参画の可能性と重要性について考察させるとともに、「現代版 高校生訴状」の作成を通して、自分の意見を政治に反映させる手段を考えさせる。</li> </ul>
		<p>国人一揆の形成 惣村の成立と惣掟</p>	<p><b>【意識】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>農業生産力の拡大を背景とした惣村形成から「住民自治の萌芽」及びルールとしての「惣掟」についての知識を身に付けさせる。生徒らの日常生活でのルールづくりを起点にして、ルール設定の基準やその制定手順を「追体験」しつつ、集団生活における「ルール」の重要性について意識を高めさせる。</li> </ul>
		<p>室町文化</p>	<p><b>【意識】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>書院造りや枯山水庭園など日本文化・風習の源流の多くがこの室町時代に花開いたことを知らせ、自国文化の歴史的経緯と伝統、そして敬愛の念をはぐくませる。茶道・華道・書院造りなどの具体例を示しながら、現代人に潜む日本人としてのアイデンティティーに関する意識を高めさせる。</li> </ul>

中世の社会・文化と東アジア (46)		町衆と地方都市の発生	<b>【知識】</b> <ul style="list-style-type: none"> <li>・経済発展を契機に自立傾向が強まる都市の成立と現状を、京都・堺などの自治都市の発生を例に理解させる。民衆を主役とする社会の到来が、経済的進展によって形成されたことを把握させる。</li> </ul>
		戦国大名と分国法	<b>【意識】</b> <ul style="list-style-type: none"> <li>・戦国大名が制定した「分国法」には支配者側の視点から自由権に対する制約が数多く盛り込まれている。先の「惣掟」との差異に注目させつつ、ルール設定の主体者が占める重要性について関心をもたせる。</li> </ul>
近世の社会・文化と国際関係 (36)	織豊政権及び幕藩体制の特色と推移，社会・文化の動向について，国際関係の変化とその影響にも触れながら理解させる。	南蛮文化	<b>【スキル】</b> <ul style="list-style-type: none"> <li>・南蛮貿易やキリスト教布教を通して交流が深まったヨーロッパ文化との接触を，異文化理解の契機ととらえ，日本に内在する多様な文化の在り方と，その受容過程を知らせる。生徒自身が日本文化の多様性について調査し，発表する機会を設定することで，日本文化への造詣を深めさせる。</li> </ul>
		江戸幕府の民衆支配	<b>【スキル】</b> <ul style="list-style-type: none"> <li>・江戸幕府は税徴収の安定と百姓の小経営を維持すべく，田畑永代売買禁令や分地制限令など各種の法令を通じて，民衆の日常生活及び耕地経営に多様な制約を強いた。現代社会における自由権との差異から，基本的人権の重要性について考察させる。</li> </ul>
		元禄期の産業と文化の発展	<b>【意識】</b> <ul style="list-style-type: none"> <li>・江戸時代における庶民の生活規範（＝「江戸しぐさ」）を題材に，異質な他者に対する敬意と寛容，相互扶助意識や社会的規範など，地域社会で共生するための庶民生活の知恵を知り，一般生活における「マナー」についての意識を高めさせる。</li> </ul>

近世の社会・文化と国際関係 (36)	御定書百箇条と法意識	<b>【知識】</b> ・社会的規範，法令・規範の遵守について法律作りの基本理念に関する知識を身に付けさせる。
	徳川吉宗と徳川宗春	<b>【スキル】</b> ・質素儉約・財政緊縮を旨とする享保の改革を遂行した徳川吉宗。それとは逆に積極財政を推進し，名古屋を一時的にせよ活況に満ちた都市へと導いた尾張藩主徳川宗春。この両者の政策の違いを通して，経済政策の重要性とその是非についての検討（ディベート）から，シティズンシップに連なる歴史的考察力を身に付けさせる。
	田沼政治と寛政の改革	<b>【知識】</b> ・田沼政治と寛政の改革の比較・検討を通して，田沼の執った経済政策の有効性について検討させるとともに，当時の経済・社会状況を理解させる。また両者の政策と現代の経済政策・社会状況との共通点を探り，多角的な政策決定の必要性についての知識を身に付けさせる。
	人足寄場の設置	<b>【意識】</b> ・寛政の改革時の課題の一つであった無宿人対策の一環として採られた「人足寄場」の設置を通して，現代社会における「フリーター」「派遣切り」「外国人労働者」などの問題点との接点を見だし，社会の安定と労働者雇用について考察させ，労働問題への意識・関心を高めさせる。
	化政文化と教育	<b>【知識】</b> ・江戸時代後期，洋学の発達や寺子屋など民衆教育の高揚，封建社会に対する批判的な政治社会思想の発達など，多様な価値観が噴出した状況を理解させる。またそれらを生み出す社会的背景に，寺子屋の浸透に伴う一般民衆の識字率の上昇が作用し，情報伝達・文化享受・技術伝達など多方面にわたって効用がみられたことを理解させる。

近代日本の形成とアジア  (34)	開国，幕府の滅亡と新政府の成立からの明治時代の近代日本の歩みについて，アジアにおける国際環境と関連付けて考察させる。	明治維新とタイ王朝	<b>【意識】</b> ・ 1868年，アジアに新しい時代を切り開く2人の元首が即位した。日本の明治天皇と，ミュージカル「王様と私」で有名な国王の息子，タイのラーマ5世である。アジア各地が欧米列強に次々と植民地化されてゆく中，2つの国は独立を守った国家として，開国から近代化に至る歩みに類似点が多い。近代国家へと変貌する「タイ」と「日本」との関係を明らかにさせつつ，近代化の歩みを検証させることで近代国家の在り方について意識を深めさせる。また導入として，名古屋にある日泰寺を両国の関係の深さを物語るものとして取り上げる。
		地租改正	<b>【知識】</b> ・ 明治政府によって導入された「地租」は近代的税制の側面ももちながら，一方では農民に対して封建制時代と同様の負担を強いるものであった。国民の三大義務の一つである税の問題を考える端緒としつつ，税制の変遷について理解させる。
		民撰議院設立の建白書	<b>【意識】</b> ・ 明治政府は，国の政策に対する意見や提案を「建白書」という形で広く民衆に求めた。結果「民撰議院設立の建白書」をはじめとして，多数の人々の多様な意見・提案がなされた。そこには積極的に国家・政治にかかわって国をよりよき方向へ進めて行こうと真摯に考える一般民衆の存在をうかがい知ることができる。そこで生徒自身により現代版「建白書」を作成させ，社会参加の在り方について考察させるとともに，意識を高めさせる。
		民会の設立とその終焉	<b>【意識】</b> ・ 国会が開設される以前，地方には数多くの「民会（＝地方議会）」が設立・運営されていた。その役割は「地方税の審議」にのみ集約されるものの，国政や外交問題にまで多くの議論が交わされ，まさに「民主主義の学校」として機能した。この学習を契機に，地方政治の重要性について意識を高めさせる。

近代日本の形成とアジア (34)	明治憲法の成立と私擬憲法	<b>【意識】</b> <ul style="list-style-type: none"> <li>・明治憲法，中でも国家と国民（臣民）との関係について考察させ，基本的人権の重要性について考察させる。同時に多様な私擬憲法の存在に着目させ，大日本帝国憲法とは別に民衆が希求した「立憲国家」の姿に迫る。また生徒自身に「私擬憲法案」を作成させ，明治憲法との比較を通して，明治国家の目指した国家の在り方について関心をもたせる。</li> </ul>
	選挙の実施と初期議会	<b>【知識】</b> <ul style="list-style-type: none"> <li>・選挙資格や選挙の実施方法について学習し，その実態を把握させるとともに，初期議会における予算審議（特に軍事費を中心とした）を通して，民意と国家政策の在り方に関する知識を身に付けさせる。</li> </ul>
	脱亜論	<b>【意識】</b> <ul style="list-style-type: none"> <li>・福沢諭吉の「脱亜論」を通して，日本・韓国間の歴史認識の差異に関する意識を高めさせ，他国理解と世界的視野の育成を目指す。また各国のもつ歴史認識の差異が，現代社会において大きな障害となる危険があることを意識させる。</li> </ul>
	日露戦争	<b>【スキル】</b> <ul style="list-style-type: none"> <li>・日露戦争に対する世論の動向（非戦論・反戦論の存在）や，講和反対運動としての「日比谷焼打ち事件」を通して，民衆運動の在り方について考察させる。また「戦争」の持つ意味を，個々の時代背景を通して考えさせる。</li> </ul>
	韓国併合	<b>【意識】</b> <ul style="list-style-type: none"> <li>・韓国併合に至る経緯と併合に対する様々な意見を通して，当時の対外的意識と国際的感覚を検討させる。また日韓両国の歴史の変遷を概観することで，国際理解・共生社会の意識を高めさせる。</li> </ul>
	社会運動の発生	<b>【知識】</b> <ul style="list-style-type: none"> <li>・労働運動と各種の規制法から，国民の権利や労働者の権利意識について知らせる。また足尾鋇毒事件をはじめ，産業革命の進展に伴う社会的なひずみ等，多様な問題を理解させる。</li> </ul>

近代日本の形成とアジア (34)		明治の教育	<b>【知識】</b> <ul style="list-style-type: none"> <li>「学事奨励に関する太政官布告」や「学制」公布、また長野県にある、松本市の開智学校などを素材に、地方が教育に寄せる期待の大きさを探る明治の教育の在り方について知らせ、教育の果たす社会的重要性について知識を身に付けさせる。また初代文部大臣・森有礼に着目し、彼の目指した国民教育の在り方について知らせ、教育と国民形成との関連の大きさについて知識を身に付けさせる。</li> </ul>
		教育勅語を読み直す	<b>【意識】</b> <ul style="list-style-type: none"> <li>「教育勅語」について、天皇制を補完するものとしての位置付けを脱することがほとんどない。しかしながら文面の多くは儒教徳目を列挙しつつ、道徳の在り方、ひいては日本人の勤勉・実直性を謳い、日本人アイデンティティーと重なる場所も少なくない。その文言を読み直し、この度改正された「教育基本法」や「明治の教育」における森有礼の姿勢と比較をすることで、道徳教育や国家と教育とのかかわり方について関心をもたせる。</li> </ul>
		新渡戸稲造の精神	<b>【意識】</b> <ul style="list-style-type: none"> <li>「旧5千円札」を題材に新渡戸稲造の思想に触れ、近代市民の生き方を模索させる。また科学・近代芸術の享受と生活様式の変化がもたらした生き方について関心をもたせる。</li> </ul>
両世界大戦期の日本と世界 (30)	第一次世界大戦から第二次世界大戦に至る我が国の歴史について世界情勢と国内の動きを関連付けて考察させる	大正政変と民本主義	<b>【意識】</b> <ul style="list-style-type: none"> <li>吉野作造の「民本主義」を読み解き、「大正デモクラシー」についての知識を身に付けさせる。この大正デモクラシーを背景に「憲政の常道」を確立に導いた「米騒動」を素材として、民衆の直接的行動が政治の流れを大きく揺り動かした事実を知らせ、民主政治についての意識を高めさせる。また米騒動に関する報道規制に着目し、マスメディアの果たす役割の重要性にも気付かせる。</li> </ul>

両 世 界 大 戦 期 の 日 本 と 世 界  (30)	中国・朝鮮の民族運動	<b>【知識】</b> ・三・一独立運動や五・四運動の歴史的位置付けを、柳宗悦の論説を通して知らせ、国際理解・異文化理解の重要性を理解させる。
	治安警察法第5条の改正と婦人参政権	<b>【知識】</b> ・女性の政治参加を著しく制限した治安警察法第5条（女性の政治結社加入・政治演説会参加の禁止）の改正に向けての動きと、改正達成（1922）を探究させ、当時における女性の地位を理解させる。また「青鞮」や廃娼運動についても知らせる。
	第二次護憲運動と普通選挙制度の成立	<b>【知識】</b> ・これまでの選挙資格制限の変遷を概観させつつ、第二次護憲運動と1925年衆議院議員選挙法（普通選挙法）が改正（成立）され、満25歳以上の全ての成年男子に選挙権が与えられたことを理解させる。
	大衆文化の成立とメディアの発達	<b>【知識】</b> ・民衆の政治的判断に必要な情報を収集するための、新聞・雑誌・ラジオなど多様なメディアの発達に関する知識を身に付けさせる。特に新聞の販路拡大の有様について注目させる。
	世界恐慌	<b>【意識】</b> ・1929年、アメリカに端を発する「世界恐慌」が日本に与えた影響と、衆議院選挙の結果について考察させる。当時の主要各国政治指導者の経済政策を材料に模擬投票を行わせ、政治と民意の繋がりの重要性について意識を高めさせる。また、現代の「世界同時不況」と重ねることで歴史と現代社会との接点を意識させる。
	① 5・15事件 ② 2・26事件と国体明徴声明	<b>【意識】</b> ・5・15事件で殺された犬養毅と、国体明徴声明を出し2・26事件が発生した岡田啓介の2人の首相を取り上げる。軍国主義に突き進む日本の政治の在り方を検証させるとともに、民主政治の方向性や「民意の所在」について検討を加えさせ、民意の重要性についての意識を高めさせる。

<p>両世界大戦期の日本と世界 (30)</p>		<p>国家総動員法と翼賛選挙の実施</p>	<p>【スキル】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・国会議員齋藤隆夫の政治活動に着目させ、戦前から戦中にかけての日本の政治の在り方を考察させる。2・26事件や国家総動員法、翼賛選挙など、軍部主導の政治の動きに対して真っ向から立ち向かい政党政治を守るべく尽力した彼の姿を通して、法のもつ危険性（運用方法や法成立の制度上不備など）や選挙制度のもつ問題点・課題について考察させる。</li> </ul>
<p>第二次世界大戦後の日本と世界 (12)</p>	<p>第二次世界大戦の終結から今日に至る我が国の歴史について、世界の動向と関連付けて考察させるとともに、広い視野から日本の文化や課題について認識させる。</p>	<p>選挙制度の改革と新憲法</p>	<p>【知識】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・戦後、選挙法の改正に伴う女性参政権の獲得と、第22回衆議院議員総選挙に関する知識を、戦前の選挙制度との比較を通して身に付けさせる。また、新憲法の成立と、憲法に定められた理念について理解させる。</li> </ul>
<p>教育制度の自由主義的改革</p>	<p>【知識】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・教科書の不适当記述の削除や教職追放、修身・日本歴史・地理の停止、教育基本法の制定など、一連の教育改革を基礎に戦前と戦後の教育の実態に関する知識を身に付けさせる。</li> </ul>		
<p>東京裁判</p>	<p>【意識】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・国際法の内容を知らせるとともに、戦争の惨禍及び戦争犯罪について考察させる。また裁判の過程や各国家の動向を通して、歴史についての認識を深めさせる。</li> </ul>		
<p>60年安保闘争</p>	<p>【知識】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・60年安保問題を通して国会の仕組みを把握させ、民意の所在と政治の問題について当時の日米関係を踏まえながら理解させる。</li> </ul>		
<p>高度経済成長の光と影</p>	<p>【知識】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・高度経済成長の陰で急速に進む公害・環境破壊について知らせ、経済成長と企業倫理の関係の重要性について理解させる。</li> </ul>		

第二次世界大戦後の日本と世界  (12)	女性の社会進出	<b>【スキル】</b> <ul style="list-style-type: none"> <li>男女雇用機会均等法をはじめ女性の社会進出を促す政策が推進される一方で、なかなかその実績が向上しない実態との乖離について考察させ、女性が置かれている現状について関心をもたせる。戦前の「治安検察法」や婦人参政権の歴史の変遷を踏まえ、女性史（女政史）についてまとめさせる。</li> </ul>
	移民の歴史	<b>【意識】</b> <ul style="list-style-type: none"> <li>2008年はブラジル移民100周年にあたる。対ブラジルに限らず、日本の移民政策は折々の経済状況や国際関係を背景に多彩な動きを見せる。またこれは、ブラジル日系人移民との共生をはじめとした異文化理解や、少子化問題と労働人口の減少、日本がこれから採るべき移民政策など21世紀の日本の抱える多様な問題を内包している。「日本人らしさ」とは何か「日本人としてのシティズンシップ」とは何かについて関心をもたせ、同時に歴史のみならず公民・地理的分野との融合を図り、経済のグローバル化を背景とした現代社会の中での問題点に関する意識を高めさせる。</li> </ul>

Ⅲ 地理A (単元の括弧内の数字は授業時間数)

単元	目 標	学習テーマ	【能力】ねらい
現代世界の特色と地理的技能 (30)	現代世界の地域性や動向を作業的、体験的な学習を通してとらえさせるとともに、地理的技能を身に付けさせる。	球面上の世界と地域構成	<b>【スキル】</b> ・各地の世界地図を比較し、中心や上下の異なる世界地図など様々な地図に触れるとともにコンピュータによる地図を利用することで、物事を俯瞰的にとらえ全体を把握する力、批判的に見る力を身に付けさせる。
		結び付く現代世界	<b>【知識】</b> ・食材などの身近なものの生産・流通・消費について調査し、年次の異なる主題図や統計などを比較してレポートをまとめることにより市場経済、資本主義の仕組み、ボーダーレス経済についての知識を身に付けさせる。
		多様さを増す人間行動と現代世界	<b>【意識】</b> ・日本とヨーロッパ諸国の旅行パンフレットを比較し、余暇活動の地域的差異を比較することにより、多様性・多文化を尊重し、異質な他者に対して敬意と寛容のある意識を高めさせる。
		身近な地域の国際化の進展	<b>【意識】</b> ・学校所在地の地域調査やその結果の地図化などにより身近な地域の国際化の特徴を把握させ、多様性・多文化を尊重する意識や社会に関与し貢献しようとする意識を高めさせる。
地域性を踏まえて	現代世界が取り組む諸課題のうち、異文化の理解及び地球的課題への取組に重点を置いて、それらを地域性を踏まえて追究し、現代世界の地理的認識を深めるとともに、地理的な見方や考え方を身に付けさせる。	諸地域の生活・文化と環境	<b>【意識】</b> ・地形・気候などの自然環境と特徴的な人々の暮らしや文化を調べて発表し、様々な生活・文化を相対的にとらえさせることにより、多様性・多文化を尊重し、異質な他者に対する敬意と寛容の意識を高めさせる。
			<b>【意識】</b> ・学校周辺の土地利用や地形を現地調査と地形図の作業を通して理解し、地理的環境と自然災害との関係について考察を深め、防災について考えることで、社会に関与し貢献しようとする意識を高めさせる。

とらえる現代世界の課題 (40)	近隣諸国の生活 ・文化と日本	<b>【スキル】</b> ・近隣諸国と日本について、地図や画像、統計資料などから基本的な国勢を調査するとともに、衣食住などの身近な生活・文化の相違点をまとめ、レポートを作成することを通して、自分のことを客観的に認識する力や他者のことを理解する力を身に付けさせる。
	諸地域から見た地球的課題	<b>【知識】</b> ・人口問題、食料問題、都市・居住問題、資源・エネルギー問題、環境問題など様々な地球的課題について、大小様々なスケールで地域を調べてレポートを作成して発表することを通して、環境問題、南北問題、まちづくり、NPO・NGO、国際紛争など、公的・社会的な分野及び政治分野での活動に必要な知識を身に付けさせる。
	近隣諸国や日本が取り組む地球的課題と国際協力	<b>【意識】</b> ・森林伐採や大気汚染など、近隣諸国や日本が取り組んでいる地球的課題について、新聞やインターネットによって調べてレポートを作成するとともに、国際協力機構などに講演を依頼し、地域性を踏まえた国際協力が必要であることを理解させることを通して、相互扶助の意識、社会に関与し貢献しようとする意識、環境との共生や持続的な発展を考える意識を高めさせる。

IV 地理B (単元の括弧内の数字は授業時間数)

単元	目 標	学習テーマ	【能力】 ねらい
(40)	<p>自然環境, 資源, 産業, 都市・村落, 生活文化に関する地域性について世界的視野から考察し, 現代世界が多様な地域から構成されていること, それらの地域には類似性や空間的な規則性などがみられること, 分布から幾つかのまとまりでとらえたり, 幾つかの地域に区分したりできることを理解させるとともに, 現代世界を系統地理的にとらえる視点や方法を身に付けさせる。</p>	<p>自然災害とハザードマップの作成</p>	<p>【知識】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>自然環境を理解した上で, 自分の住む地域にどのような自然災害が発生するのかを理解させる。</li> </ul> <p>【スキル】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>自分の住む地域のハザードマップを, 様々な自然災害ごとに作成させ, 情報や知識を効果的に収集し, 正しく理解・判断するためのスキルを身に付けさせる。</li> </ul>
		<p>資源の偏在</p>	<p>【意識】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>資源分布の偏在が国家間の対立を生み, 資源ナショナリズムを発生させたことを理解させ, 国家間の対立のない資源の有効利用について意識を高めさせる。</li> </ul>
		<p>日本人の国際化</p>	<p>【意識】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>グローバル化の進展とともに, 衣食住をはじめ普段の生活の中でも国際化を感じ取ることができるようになったが, このことにより, どのような問題が発生しているのかについて関心をもたせる。</li> </ul>
(50)	<p>地域の規模に応じて地域性を多面的・多角的に考察し, 現代世界を構成する各地域は多様な特色をもっていることを理解させるとともに, 世界諸地域を規模に応じて地誌的にとらえる視点や方法を身に付けさせる。</p>	<p>地域調査</p>	<p>【意識】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>自分の住んでいる地域における問題点を地理的な視点からとらえ, その解決方法に関心をもたせる。</li> </ul> <p>【スキル】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>自分の住んでいる地域をよりよくするためのプランを地理的な視点から立てさせ, 他者と共に社会の中で自分の意見を表明し, 他人の意見を聞き, 意思決定し, 実行するためのスキルを身に付けさせる。</li> </ul>
		<p>アメリカ合衆国市民権獲得模擬テスト</p>	<p>【知識】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>「人種のるつぼ」といわれる移民国家アメリカ合衆国では, いまでも数多くの移民を受け入れ, 多様な文化が生まれていることを理解させるとともに, 問題点についても知らせる。</li> </ul>

現代世界の地誌的考察 (50)		オーストラリアの多文化共生主義政策	<b>【知識】</b> <ul style="list-style-type: none"> <li>かつて白豪主義をとっていたオーストラリアが多文化主義へと展開していった経緯を理解させるとともに、その具体的な取組についても知らせる。</li> </ul>
現代世界の諸課題の地理的考察 (50)	現代の世界や日本が取り組む諸課題について、広い視野から地域性を踏まえて考察し、現代世界の地理的認識を深めさせるとともに、地理的に考察する意義や有用性に気付かせ、地理的な見方や考え方を身に付けさせる。	GISによる主題図作成	<b>【スキル】</b> <ul style="list-style-type: none"> <li>地球的課題に関する主題図を作成し、検討させることで、地理的な課題の解決策を考えさせ、大量の情報の中から必要なものを収集し、効果的な分析を行う力を身に付けさせる。</li> </ul>
		EUの成立と発展	<b>【知識】</b> <ul style="list-style-type: none"> <li>ヨーロッパでは、国際経済競争により、政治・文化・宗教の枠を超えて結合が進んでいることを理解させるとともに、その問題点についても知らせる。</li> </ul>
		貿易ゲーム	<b>【意識】</b> <ul style="list-style-type: none"> <li>自由貿易により、経済格差が生じることを理解させるとともに、この問題に地球市民としていかに取り組んでいくかについて意識を高めさせる。</li> </ul>
		韓国料理と中華料理	<b>【意識】</b> <ul style="list-style-type: none"> <li>とうがらしとキムチ、俵物とフカヒレのスープの関係を通して、日本と中国、韓国の食文化の交流を理解させ、異質な他者に対する敬意と寛容についての意識を高めさせる。</li> </ul>
京都議定書	<b>【意識】</b> <ul style="list-style-type: none"> <li>世界で起こっている環境問題、エネルギー問題は一国だけの問題ではなく、世界の国々が一つになって取り組んでいかななくてはならないことを理解させ、環境との共生や持続的な発展を考える意識を高めさせる。</li> </ul>		

現代世界の諸課題の地理的考察 (50)	アフリカの人口問題と食料問題	<b>【意識】</b> ・アフリカの文化や習慣を踏まえた上で、日本人としてどのようにしたらアフリカの人口問題や食料問題の解決に協力することができるかを考えさせ、社会に関与し貢献しようとする意識を高めさせる。
	ロンドンの都市問題	<b>【知識】</b> ・ロンドンの中心部の荒廃とともに、中心部に占める外国人の割合が増加し、外国人への対応を無視することができなくなったことを理解させるとともに、都市問題の解決策としてイギリスがとった手法について知らせる。
	民族紛争	<b>【意識】</b> ・異文化理解が乏しいために様々な地域で民族紛争が発生しており、民族紛争の解決には地球市民としての異文化理解が欠かせないことを理解させ、多様性・多文化の尊重についての意識を高めさせる。

**V 現代社会** (単元の括弧内の数字は授業時間数)

単元	目 標	学習テーマ	【能力】 ねらい
現代に生きる私たちの課題 (10)	現代社会の諸問題について自己とのかかわりに着目して課題を設け、倫理、社会、文化、政治、経済など様々な観点から追究する学習を通して、現代社会に対する関心を高め、いかに生きるかを主体的に考えることの大切さを自覚させる。	地球環境問題	<b>【意識】</b> ・「宇宙船地球号」を題材に「地球市民」としての在り方・生き方を、武田文男の著した「人間か、動物か」(朝日新聞社)を題材に開発・環境・資源・価値観等を考察させ、共生及び持続的発展の意識を高めさせる。
		資源・エネルギー問題	<b>【スキル】</b> ・新エネルギー及び代替エネルギーの効率性・現実性について、インターネットを使って多面的に考察させ、大量の情報の中から必要なものを収集し、効果的な分析を行う力を身に付けさせる。  <b>【意識】</b> ・バイオマス燃料の功罪について、食糧問題とリンクさせながら考察させることで共生及び持続的発展の意識を身に付けさせる。
		日常生活と宗教や芸術のかかわり	<b>【スキル】</b> ・七・五・三や正月の注連飾り、お盆など身近な例を題材にK J法及びブレインストーミングを用いてワークシートに記入させ、信仰心の意義を考えさせることを通して、自分のことを客観的に認識する力を身に付けさせる。
		科学技術の発達と生命の問題	<b>【スキル】</b> ・尊厳死を認める方向を打ち出した病院の倫理委員会の発表に関する新聞記事を題材に、グループ討議により多角的な考察をさせ、価値判断力や物事を俯瞰的にとらえ全体を把握する力を身に付けさせる。
		豊かな生活と福祉社会	<b>【意識】</b> ・ボランティア活動(福祉体験)の実践を通して、「共生」するコミュニティ実現のための理念・方策を考察させ、社会への参画に関する意識を身に付けさせる。

現代の社会生活と青年 (8)	大衆化, 少子高齢化, 高度情報化, 国際化など現代社会の特質と社会生活の変化について理解させる。また, 生涯における青年期の意義と自己形成の課題について考えさせるとともに, 自己実現と職業生活, 社会参加に触れながら, 現代社会における青年の生き方について自覚を深めさせる。	大衆社会	【意識】 ・副教材の資料「インタビューの方法について」を参考に, ヒアリング調査を行いながら個人と共同体の間のつながりについて理解を深めさせ, 相互扶助を重視する「市民」としての意識を高めさせる。
		少子高齢化社会	【意識】 ・核家族化が進む現代社会において高齢社会を迎えたことでどのような問題が生じてきているのか, インターネットなどを利用して情報を収集し, まとめることを通して, 社会全体で高齢者を支える体制をつくること等, 持続可能な社会の形成について関心をもたせる。
		高度情報化社会	【意識】 ・KJ法及びブレインストーミングを利用して, 知的所有権が財産であることに気付かせ, 規範意識を高めさせる。
		国際化	【意識】 ・地理A教科書の「マレーシアでの都市の生活」を参考にしながら, アンケート調査を通して, 身近に居住する外国人及び中学校時代の外国人生徒とのかかわりの中から異文化理解と共生の実際についての問題点を探らせる。さらに, 異文化との共生を実現している国の例を取り上げて, あるべき社会の姿を考察させ, 多様性・多文化の尊重について意識を高めさせる。
		青年期の意義と自己形成の課題	【スキル】 ・アンケートを実施して自己理解を進めながら社会参加の具現化の方法を考察させることを通して自己認識力を身に付けさせる。
		現代社会における青年の生き方	【意識】 ・日本の伝統文化や生活文化と自己とのかかわりに着目させることを通して, 自己にとっての共同体の重要性と社会に関与し貢献しようとする意識を高めさせる。

現代の社会生活と青年 (8)			<p>【意識】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>ドストエフスキーの「死の家の記録」を題材とした昭和48年6月16日付天声人語を用い、職業生活の意義を考察させることを通して社会参画意識を身に付けさせる。</li> </ul>
現代の経済社会と経済活動の在り方 (18)	現代の経済社会における技術革新と産業構造の変化、企業の働き、公的部門の役割と租税、金融機関の働き、雇用と労働問題、公害の防止と環境保全について理解させるとともに、個人や企業の経済活動における社会的責任について考えさせる。	経済社会と経済体制	<p>【知識】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>資本主義が発達した結果、国民の福祉の実現のために国家による経済介入が必要になったことを理解させ、経済における国家の役割に関する知識を深めさせる。</li> </ul>
		現代の企業	<p>【意識】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>企業の社会的責任及び社会貢献の在り方について理解を深めさせ、社会に関与し貢献しようとする意識を高めさせる。</li> </ul>
		政府の経済的役割と租税の意義	<p>【知識】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>財政については、公平な税負担の在り方について考察させるとともに、模擬青色申告を行い、実際に納めている税金の額等について理解を深めさせる。</li> </ul>
		産業構造の変化	<p>【スキル】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>産業構造の高度化に着目し、製造業（ひいては中小企業）や農業分野が直面している諸問題について考察させ、日本社会におけるそれぞれの役割の共有を通して他者のことを理解する力を身に付けさせる。</li> </ul>
		雇用と今日の労働問題	<p>【意識】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>男女共同参画社会の実現に向けた女性の労働環境の現状とその改善の方策、及び女性労働者への支援の在り方やパートタイム労働の法律上の問題点について、労働法のねらい・意義の観点から考察させることを通して労働者の権利に関わる正しい規範意識をもたせる。</li> </ul>

現代の経済社会と経済活動の在り方 (18)		消費者問題と消費者主権	【意識】 ・ P L法で認めた無過失責任制度の重みを刑法と比較して実感させ、規範意識をもたせる。
		公害の防止と環境保全	【スキル】 ・ 国立環境研究所の出した「これだけのものを水に流したら」を参考に、各家庭の生活排水の調査及び分析結果について図表を使いながら報告させることで、大量の情報の中から必要なものを収集し効果的な分析を行う力、及びプレゼンテーション力を身に付けさせる。
現代の民主政治と民主社会の倫理 (18)	基本的人権の保障と法の支配、国民主権と議会制民主主義、平和主義と我が国の安全について理解を深めさせ、日本国憲法の基本的原則について国民生活とのかかわりから認識を深めさせるとともに、世論形成と政治参加の意義について理解させ、民主政治における個人と国家について考えさせる。また、生命の尊重、自由・権利と責任・義務、人間の尊厳と平等、法と規範などについて考えさせ、民主社会において自ら生きる倫理について自覚を深めさせる。	民主政治における個人と国家	【意識】 ・ 「国家」の意味 (nation, state, country 等) についての理解を深めさせ、日本にとっての「公」や「市民」及び「民主主義」を考察させることを通して、政治への参画に関する意識を高めさせる。
		基本的人権と法の支配	【知識】 ・ 法の支配と法治主義の相違について、モラルジレンマを用いた討論学習により、「法」の本質について理解を深めさせる。
			【意識】 ・ 頭髪の染色に関する社則違反を理由とした解雇事例について考察させることを通して、社会の一員として社会全体の利益と調和する適切な権利意識を身に付けさせる。
		世界の主な政治体制	【知識】 ・ 民主政治を実現するための議論を通じた政策の決定や民意の実現の在り方という視点から、民主主義の多様な仕組みについて理解を深めさせる。
	日本国憲法の基本原理	【スキル】 ・ 法律（憲法）を正しく読ませ、法律の解釈に関するスキルを習得させる。	

<p>現代の民主政治と民主社会の倫理</p> <p>(18)</p>	<p>平和主義と安全保障</p>	<p>【スキル】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・国，ひいては国民や社会の安全保障の具体的方策について，日本と国際社会との関係を念頭に置きながら多面的・多角的な考察をさせ，価値判断力及び論理的思考力を身に付けさせる。</li> </ul>
	<p>基本的人権の保障と新しい人権</p>	<p>【スキル】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・昭和 49 年 6 月 28 日付天声人語「偏見」を題材に，社会における「自由」と「平等」のバランスについて多面的・多角的に考察させ，社会正義の実現について考えさせる。</li> </ul>
		<p>【意識】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・グループ討論やディベートを通して，社会の発展と新しい人権とのバランスについて考察させ，適切な権利意識を身に付けさせる。</li> </ul>
		<p>【知識】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・公共の福祉の概念について理解させた上で，「不断の努力」と「濫用の禁止」のバランスについて考察させ，人権尊重の在り方について理解させる。</li> </ul>
	<p>国民主権と議会議制民主主義</p>	<p>【知識】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・国民主権の実現のためのルールについて理解を深めさせ，具体的な実現の方法を考察させることで日本の政治制度に関する知識を身に付けさせる。</li> </ul>
	<p>内閣と行政の民主化</p>	<p>【意識】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・主権者として行うべき行政に対するチェックの方法や正しい在り方について，事例を基に考察させることで主権者としての正しい権利意識を身に付けさせる。</li> </ul>
<p>裁判所と人権保障</p>	<p>【意識】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・主権者としての司法制度へのかかわり方として，裁判の見学や，裁判員制度についてのシミュレーション学習を通して政治への参画に関する意識を高めさせる。</li> </ul>	
	<p>【知識】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・セクシャルハラスメントを題材とした架空事例を用いて，民事裁判と刑事裁判の性格の違いを理解させる。</li> </ul>	

現代の民主政治と民主社会の倫理 (18)		地方自治と住民の福祉	<b>【意識】</b> ・行政に対する直接請求や議会へのかかわり方について、模擬議会・模擬投票といったシミュレーション学習を通して政治への参画に関する意識を高めさせる。
		世論の形成と政治参加	<b>【意識】</b> ・「市民」として、正しい政治へのかかわり方や政治に関心をもち続けることの重要性を意識させる。また、メディア及び権力者の視点を理解することで政治に対する多面的・多角的な見方や自己及び「民意」を省みる姿勢、さらに、自由権の保障の重要性に気付かせ、政治への参画に関する意識を高めさせる。
		人間の尊厳と生命の尊重	<b>【知識】</b> ・人間が尊厳されるべき理由や、自由・権利の裏側にある市民として果たすべき義務・責任の重要性について考察させ、理解を深めさせる。
国際社会の動向と日本の果たすべき役割 (16)	世界の主な国の政治や経済の動向に触れながら、人権、国家主権、領土に関する国際法の意義、人種・民族問題、核兵器と軍縮問題、我が国の安全保障と防衛、資本主義経済と社会主義経済の変容、貿易の拡大と貿易摩擦、南北問題について理解させ、国際平和や国際協力の必要性及び国際組織の役割について認識させるとともに、国際社会における日本の果たすべき役割及び日本人の生き方について考えさせる。	国際経済の仕組みと貿易の拡大	<b>【スキル】</b> ・円高差益の実際をシミュレーションさせながら、国際経済という観点から、国際社会と我々のかかわりについて俯瞰的にとらえ全体を把握する力を身に付けさせる。
		国際経済の動向	<b>【意識】</b> ・「世界の中の日本」という視点から、戦後の国際経済の動向と現状についての理解を深めさせ、世界と日本のかかわりに着目させることを通して、国際社会の中で生きる日本人としての意識を高めさせる。
		発展途上国の経済と南北問題	<b>【知識】</b> ・「国際社会の一員としての日本」という視点から、南北問題の現状とその背景について理解を深めさせる。
		国際協調と日本の役割	<b>【スキル】</b> ・我々が「世界市民」としてどんな問題に直面し、その解決にはどのようなことを考え、実践していかなければならないのかを考察させ、国際経済社会を俯瞰的にとらえ全体を把握する力を身に付けさせる。

国際社会の動向と日本の果たすべき役割  (16)	今日の国際社会	<b>【知識】</b> ・戦後国際社会の動向（歴史）を大枠で理解させることを通して、国際社会と日本の政治のかかわりの重要性について認識させる。
	国家主権と国際法	<b>【知識】</b> ・現在の日本の国境問題を題材に、国際司法裁判所の特徴、及び国際法の特質を理解させる。
	国境と領土問題	<b>【スキル】</b> ・日本の国境問題に関するディベートを行い、その解決方法の考察を通してコミュニケーション能力及び他者のことを理解する力を身に付けさせる。
	地域紛争と人種・民族問題	<b>【意識】</b> ・地球市民の一員として、国際平和の維持やコミュニティの構成員同士の対立について、各地域・国の歴史や文化の相違を踏まえながら、問題の解決に向けた方策を考察させ、異質な他者に対する敬意と寛容に関する意識を高めさせる。
	国際連合の役割	<b>【知識】</b> ・国際連合の活動を通して、経済・社会・文化・人道的な国際協力を推進することによる主権国家間の紛争解決について理解を深めさせる。
	核兵器の廃絶と国際平和	<b>【意識】</b> ・核兵器の削減・廃絶は、唯一の被爆国である日本にとっての願いであり、また全人類が持続的に発展していく上でも重要であることを理解させ、平和を求め、持続的な発展を考える意識を高めさせる。
	外交政策と日本の役割	<b>【スキル】</b> ・今までの歴史や現在の日本の国際的な地位・立場を踏まえた東アジアの一員としての日本の在り方について、多面的・多角的に考察させ、小論文としてまとめさせることで価値判断力及び論理的思考力を身に付けさせる。

## VI 倫理 (単元の括弧内の数字は授業時間数)

単元	目 標	学習テーマ	【能力】ねらい
青年期の課題と自己形成 (3)	自らの体験や悩みを振り返ることを通して、青年期の意義と課題を理解させ、豊かな自己形成に向けて、他者と共に生きる自己の生き方について考えさせる。	適応と個性の形成	【スキル】 ・自分がどのような人間であるかを分析させ、かつ友人から自分はどのように見られているかを分析させることにより、自分のことを客観的に認識する力を身に付けさせる。
		青年期の意義	【スキル】 ・元服がどのような儀式であったのかを調べることを通して、イニシエーションがもつ社会的な意味を考察させる。自分のことを客観的に認識する力を身に付けさせる。
		現代における青年期の在り方	【意識】 ・10年後の自分がどのように社会に貢献しているかを想像し、自分自身に手紙を書かせることにより、社会への参画に関する意識を高めさせる。
人間としての自覚 (20)	人生における哲学、宗教、芸術のもつ意義などについて理解させ、人間の存在や価値にかかわる基本的な課題を探究させることを通して、人間としての在り方生き方について考えを深めさせる。	ソクラテス	【スキル】 ・プラトンの『クリトン』（国法がソクラテスに刑死を勧める部分）を読ませた後、「クリトン：不正によって殺されてはならないとする立場」と「国法：法を守ることが市民としての生き方とする立場」に分かれてロールプレイングを行う。そして、ソクラテスが最終的にどちらの意見に従うかを考察させて、他者のことを理解する力、及び価値判断力を身に付けさせる。
		プラトン	【意識】 ・プラトンの著作の解説（魂の三分説と正義について）を読ませ、そこで理想とされている人間と、日本人の理想像とを比較し、その違いと共通点について考えさせる。その後、グループで発表させることを通じて、異なる価値観を理解させながら、多様性・多文化の尊重に関する意識を高めさせる。

人間としての自覚 (20)	アリストテレス (現実主義 1)	<p>【スキル】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>身近な規範の例を挙げ、それが実践されている理由を「アイデア」とする立場と「習性」とする立場に分かれてディベートを行う。そして、最終的に自分はどのように考えるかを文章にまとめさせ、価値判断力や論理的思考力を身に付けさせる。</li> </ul>
	アリストテレス (現実主義 2)	<p>【スキル】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>「理想主義 (アイデア論)」と「現実主義 (習性的徳の重視, 徳を中庸としてとらえる考え方)」のそれぞれの立場から、「善き市民」を育てるための教育を考察させる。物事の本質をとらえ、構想する力を身に付けさせる。</li> </ul>
	アリストテレス (友愛)	<p>【意識】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>外国人や異文化の人間に対しても友愛は成り立つか、ディベートを行わせ、友愛が成立するために必要なことを考察させる。人権・尊厳の尊重に関する意識を高めさせる。</li> </ul>
	ヘレニズム (ストア派)	<p>【意識】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>ローマ万民法が必要となった理由について、今日の日本社会に照らし、賛成派と反対派に分かれてディベートを行わせる。法の適用範囲の考察を通して、人権・尊厳の尊重に関する意識を高めさせる。</li> </ul>
	キリスト教	<p>【スキル】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>「律法とは何か」という問いに関するユダヤ人 (パリサイ人) とイエスの立場に分かれ、ディベートを行うことで、物事を批判的に見る力を身に付けさせる。</li> </ul>
	イスラーム 仏教	<p>【意識】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>キリスト教, イスラーム, 仏教の中心的な教えについてKJ法を用いて整理させる。さらに、3つの宗教に共通する部分や違い、また違う理由についてグループで話し合わせ、発表させる。多様性・多文化の尊重に関する意識を高めさせる。</li> </ul>

人間としての自覚 (20)		儒家と道家	【意識】 ・『論語』と『孟子』を読ませ、自分たちの規範意識の根拠について考察させることで、規範の遵守に関する意識を高めさせる。
		朱子学と陽明学	【意識】 ・朱子（性即理）と王陽明（心即理）のそれぞれの立場を比較した上で考えをまとめさせ、規範の遵守に関する意識を高めさせる。
		老子と荘子	【スキル】 ・『老子』と『荘子』を読ませ、その理想とする生き方を儒家と比較させる。なぜこれほど異なる価値観が生まれたのか、その理由の考察を通して価値判断力を身に付けさせる。
国際社会に生きる日本人としての自覚 (20)	日本人にみられる人間観，自然観，宗教観などの特質について，我が国の風土や伝統，外来思想の受容に触れながら，自己とのかかわりにおいて理解させ，国際社会に生きる主体性のある日本人としての在り方生き方について自覚を深めさせる。	日本における古代の人々の考え方	【知識】 ・日本の年中行事を調べてレポートにまとめさせ，そこから見ることのできる日本人の信仰について理解させる。
		仏教の移入	【知識】 ・近所の神社や寺を訪ね，その歴史と信仰されている神や仏について調べ，レポートにまとめさせる。日本の宗教に対する知識及び理解を深めさせる。
		儒教の伝来と朱子学	【意識】 ・武士の生き方がどのようなものであったかを理解させるために『武士の娘』（杉本鉞子）の一部を読ませ，感想文を書かせる。日本の武士の生き方を通して，規範の遵守に関する意識を高めさせる。
		古学	【スキル】 ・赤穂の浪士をどのように裁くべきかについて模擬裁判を行う。法律と道徳（忠義）の対立を明確にし，最終的に判決を下すことを通じて，価値判断力及び論理的思考力を身に付けさせる。

<p>国際社会に生きる日本人としての自覚 (20)</p>	<p>近世町人文化と民衆の思想</p>	<p><b>【意識】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>石田梅岩と二宮尊徳の思想を学び、経済の発展と規範意識の関連性に注目させる。自分が経営者になったと想定し、具体案を考えさせることを通して、規範の遵守に関する意識を高めさせる。</li> </ul>
	<p>国学</p>	<p><b>【スキル】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>本居宣長（「真心」）と朱子学者（「敬」）の立場に分かれてロールプレイングを行い、それぞれの「道」を対比させて、人間観を理解させる。これにより他者のことを理解する力、及び価値判断力を身に付けさせる。</li> </ul>
	<p>日本の伝統文化</p>	<p><b>【意識】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>お茶会に参加し、「わび」を体験させる。伝統文化の「型」や作法に込められた精神を体験的に学ばせることで、他者に対する敬意について意識を高めさせる。</li> </ul>
	<p>近代日本哲学の成立</p>	<p><b>【スキル】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>『善の研究』の一部を読ませる。西洋近代哲学によってとらえられた世界と、禅によってとらえられた世界の違いを比較させ、レポートにまとめさせる。参禅の体験が望ましいが、難しい場合は西田幾多郎の参禅の日記を読んで擬似的に体験させる。これにより自分のことを客観的に認識する力を身に付けさせる。</li> </ul>
	<p>近代日本の思想傾向への反省</p>	<p><b>【知識】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>民俗学の研究対象となった身近な祭りや年中行事、方言、民間伝承を調べ、クラスで発表させる。これにより自国の文化に対する理解を深めさせる。</li> </ul>

現代の特質と倫理的課題 (3)	現代の倫理的課題を大局的にとらえさせ、今日に生きる人間の課題について理解させる。	合理的な考え方と社会の進歩	<b>【スキル】</b> ・官僚制の特徴を理解させ、「合理化」によって生じている問題を分析させる。物事を批判的に見る力を身に付けさせる。
現代に生きる人間の倫理 (15)	人間の尊厳と生命への畏敬、自然や科学技術と人間とのかかわり、民主社会における人間の在り方、社会参加と奉仕、自己実現と幸福などについて、倫理的な見方や考え方を身に付けさせ、他者と共に生きる自己の生き方にかかわる課題として考えを深めさせる。	ルネサンス	<b>【知識】</b> ・ルネサンスの詩人、芸術家、学者、政治家について調べさせ、新しい時代の規範が、古典を学び直すことで形成されたことを理解させる。思想・哲学、歴史の知識を習得させる。
		宗教改革（1）	<b>【スキル】</b> ・カルヴァンの「予定説」から「勤勉」という徳が強調されるようになった理由をグループで考えさせ、レポートにまとめさせる。論理的思考力を身に付けさせる。
		宗教改革（2）	<b>【意識】</b> ・日本人が重視する勤勉の徳について、その根拠をグループで話し合わせる。さらに相違点、共通点についてプロテスタントと比較させることで、多様性・多文化の尊重に関する意識を高めさせる。
		モラリスト	<b>【意識】</b> ・パスカルの『パンセ』を読ませる。『旧約聖書』の「折れかけた葦」から「考える葦」という言葉が生まれたことを踏まえ、感想文を書かせる。これにより、人権・尊厳の尊重に関する意識を高めさせる。
民主社会の原理 (社会契約説)	<b>【知識】</b> ・ロールプレイングを用いてホブズ、ロック、ルソーの人間観を比較し、それぞれからどのような制度が導き出されたかを考察することで、社会契約説に関する理解を深めさせる。		

現代に生きる人間の倫理 (15)		他者の尊重	<b>【スキル】</b> ・アフーマティブ・アクション（ポジティブ・アクション）に対して賛成派と反対派に分かれてディベートを行い，社会の公平性について多角的に考察させる。価値判断力及び物事を批判的に見る力を身に付けさせる。
		現代における理性の問題	<b>【意識】</b> ・ガンジーやマザー＝テレサの生き方から，人間を信頼することや，他者に奉仕する生き方について理解させる。また，他者に奉仕する体験と，そこから学んだことのレポートを通して，人権・尊厳の尊重，相互扶助意識を高めさせる。
現代の諸課題と倫理 (9)	生命，環境，家族・地域社会，情報社会，世界の様々な文化の理解，人類の福祉のそれぞれにおける倫理的課題を，自己の課題とつなげて追究させ，現代に生きる人間としての在り方生き方について自覚を深めさせる。	異文化理解と倫理	<b>【スキル】</b> ・日本に在住する外国人をめぐる問題についてゲストティーチャーから話を聞き，文化摩擦がなぜ起こるのかを考察させる。また，ロールプレイングを用いて多文化共生の可能性や方法について考察させ，異なる意見を最終的には集約する力を身に付けさせる。
			<b>【意識】</b> ・外国の建築物と日本の建築物の写真を比較させ，その違いについてK J法を用いて分析させる。また，なぜそのような違いができたのかを推測させ，多様性・多文化の尊重に関する意識を高めさせる。
		人類の福祉	<b>【意識】</b> ・ボランティア団体やNPOに問い合わせ，活動に参加して体験をレポートにまとめさせる。これにより相互扶助意識やボランティア精神を高めさせる。

**Ⅶ 政治・経済** (単元の括弧内の数字は授業時間数)

単元	目 標	学習テーマ	【能力】ねらい
民主政治の基本原理と日本国憲法  (20)	日本国憲法の基本的性格と国会、内閣、裁判所などの政治機構を概観し、政治と法の機能、人権保障と法の支配、権利と義務の関係、議会制民主主義について理解させ、民主政治の本質や現代政治の特質について探究させるとともに、政党政治や選挙などに着目して、望ましい政治の在り方及び主権者としての参政の在り方について考察させる。	法の支配	【知識】 ・インターネットを利用して様々な種類の法律に関して調べることを通して、法についての基本的な知識や理解を深めさせる。
		民主政治の基本原則	【意識】 ・21世紀的な権利を盛り込んだ新しい人権宣言を作成することを通して、人権を尊重しようとする意識を高めさせる。
		日本国憲法の基本原則	【スキル】 ・グループごとに日本国憲法の改正案を作成することにより、意見調整能力や計画・構想力を身に付けさせる。
		平和主義	【スキル】 ・自衛隊の海外派遣の是非に関するディベートを実施して、論理的思考力や価値判断力を身に付けさせる。
		内閣	【スキル】 ・グループごとに省庁を一つ選び、法律案を作成することにより、意見調整能力や計画・構想力を身に付けさせる。
		裁判所	【意識】 ・裁判員制度に基づく模擬裁判を通して、主体的に司法へ参加しようとする態度を高めさせる。
		地方自治	【スキル】 ・住民からの視点による「まちづくりプラン」を作成することにより、課題設定能力や計画・構想力を身に付けさせる。
政党政治	【意識】 ・グループごとに架空の政党を結成してマニフェストを作成することにより、主体的に政治に参加しようとする態度を高めさせる。		

民主政治と日本国憲法原理 (20)		選挙	<b>【スキル】</b> ・衆議院議員選挙の模擬投票を実施して、情報収集能力や価値判断力を身に付けさせる。
		政治参加と世論	<b>【意識】</b> ・身近なテーマに関する世論調査を実施・分析することにより、主体的に政治へ参加しようとする意識を高めさせる。
現代の国際政治 (8)	国際政治の動向，人権，国家主権，領土などに関する国際法の意義，国際連合をはじめとする国際機構の役割，我が国の防衛を含む安全保障の問題について理解させ，国際政治の特質や国際紛争の諸要因について探究させるとともに，国際平和と人類の福祉に寄与する日本の役割について考察させる。	国際政治の動向	<b>【スキル】</b> ・架空の国際紛争に対応するための国連安全保障理事会を実施して具体的な解決方法をまとめることにより，意見調整能力や価値判断力を身に付けさせる。
		国際社会と国際法	<b>【スキル】</b> ・架空の国際紛争に関しての国際司法裁判所での模擬裁判を実施することにより，論理的思考力や価値判断力を身に付けさせる。
		国際連合	<b>【スキル】</b> ・グループごとに国連の専門機関を一つ選び，国際的な課題について解決方法をまとめることを通して，意見集約能力や意思決定能力を身に付けさせる。
		国際平和と日本の役割	<b>【意識】</b> ・特定のNGOの活動について調べて発表することを通して，国際社会の一員としての自覚を深めさせる。
現代社会の経済の変容と (16)	資本主義経済及び社会主義経済の変容，国民経済における家計，企業，政府の役割，市場経済の機能と限界，物価の動き，経済成長と景気変動，財政の仕組みと働き及び租税の意義と役割，資金の	経済社会の変容	<b>【知識】</b> ・資本主義経済と社会主義経済のそれぞれの問題点をまとめることにより，経済に関する基本的な知識を身に付けさせる。
		経済主体	<b>【スキル】</b> ・グループごとに若者にヒットしそうな商品を企画・発表することを通して，課題設定能力や計画・構想力を身に付けさせる。

<p>経済社会の変容と現代経済の仕組み</p> <p>(16)</p>	<p>循環と金融機関の働きについて理解させ、現代経済の特質について探究させるとともに、経済活動の在り方と福祉の向上との関連を考察させる。</p>	市場経済	<p>【スキル】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>紙上での株式売買ゲームを実施することにより、情報収集能力や意思決定能力を身に付けさせる。</li> </ul>
		企業(1)	<p>【スキル】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>グループで分担してテレビCMの多い企業を調べ、クラスで発表することを通して、情報収集能力やプレゼンテーション能力を身に付けさせる。</li> </ul>
		企業(2)	<p>【意識】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>自分が就職してみたい企業について調べ、クラスで発表することを通して、働くことの意義を自覚させる。</li> </ul>
		財政	<p>【スキル】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>いくつかのグループを省庁に見立て、クラス全体で予算案を作成することにより、企画力や課題設定能力を身に付けさせる。</li> </ul>
		租税	<p>【スキル】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>税制の抜本的な見直しを行うと仮定して、グループごとに新しい具体的な税制案を作成することにより、課題設定能力や計画・構想力を身に付けさせる。</li> </ul>
		社会保障	<p>【スキル】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>世界の社会保障について調べるとともに、日本の社会保障のあるべき姿を提言することにより、情報分析力や論理的思考力を身に付けさせる。</li> </ul>
<p>国民経済と国際経済</p> <p>(8)</p>	<p>貿易の意義と国際収支の現状、為替相場の仕組み、国際協調の必要性や国際経済機関の役割について理解させ、国際経済の特質について探究させるとともに、国際経済における日本の役割について考察させる。</p>	国際貿易	<p>【意識】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>身の回りの持ち物の生産国（原産国）を調べてまとめることにより、国際社会の一員としての自覚を深めさせる。</li> </ul>
		外国為替相場	<p>【スキル】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>紙上での外国為替売買ゲームを実施することにより、情報収集能力や意思決定能力を身に付けさせる。</li> </ul>

国民経済と国際経済 (8)		地域的経済統合	<b>【意識】</b> ・日本を中心とした東アジアの地域的経済連携を具体的に提案して、国際社会の一員としての自覚を深めさせる。
		国際経済における日本の役割	<b>【意識】</b> ・日本からある発展途上国へのODAによる援助を具体的に立案して、地球市民としての意識を高めさせる。
現代日本の政治や経済の諸課題 (10)	大きな政府と小さな政府、少子高齢社会と社会保障、住民生活と地方自治、情報化の進展と市民生活、労使関係と労働市場、産業構造の変化と中小企業、消費者問題と消費者保護、公害防止と環境保全、農業と食料問題などについて、政治と経済とを関連させて考察させる。	大きな政府と小さな政府	<b>【スキル】</b> ・大きな政府と小さな政府の主張に分かれたディベートを実施することにより、論理的思考力やプレゼンテーション能力を身に付けさせる。
		少子高齢社会と社会保障	<b>【意識】</b> ・子育て世帯の立場を踏まえた具体的な少子化対策を提案することにより、自らの生き方について自覚させる。
		住民生活と地方自治	<b>【意識】</b> ・地域の実情に応じた条例案を作成することにより、主体的に社会参画しようとする意識を高めさせる。
		情報化	<b>【意識】</b> ・高校生が携帯電話を使用する際のルールやマナーについてまとめることを通して、法令や規範を守ろうとする意識を高めさせる。
		労使関係	<b>【知識】</b> ・労働三法について学習することにより、社会人として求められる知識を身に付けさせる。
		中小企業	<b>【意識】</b> ・総合的な学習の時間と連携して、地元の小企業の職場体験を行うことにより、働くことの意義や責任感を自覚させる。
		消費者問題	<b>【スキル】</b> ・悪質商法についてのロールプレイを通して、物事を批判的にとらえ、冷静に判断する能力を身に付けさせる。

現代日本の政治や経済 の諸課題 (10)		公害防止と環境保全	<b>【意識】</b> ・自分の住む自治体の地域のゴミ問題について調べてまとめることにより，環境との共生に関しての意識を高めさせる。
		農業と食糧問題	<b>【スキル】</b> ・各自がスーパーマーケットに出向いて，国産品と輸入品の価格の違いについて調べてまとめることを通して，情報収集能力や情報分析力を身に付けさせる。
国際社会の政治や経済の諸課題 (8)	地球環境問題，核兵器と軍縮，国際経済格差の是正と国際協力，経済摩擦と外交，人種・民族問題，国際社会における日本の立場と役割などについて，政治と経済を関連させて考察させる。	地球環境問題	<b>【意識】</b> ・環境問題を解決するための新しい国際議定書を作成することにより，環境との共生に関しての意識を高めさせる。
		核兵器と軍縮	<b>【スキル】</b> ・核兵器の保有国を世界地図に色塗りし，その地図から読み取れることをまとめることを通して，全体を把握する能力を身に付けさせる。
		南北問題	<b>【知識】</b> ・「世界がもし100人の村だったら」を読みながら，南北問題の現状と課題について理解させる。
		経済摩擦	<b>【スキル】</b> ・インターネットを利用して日本の貿易摩擦の現状を調べることにより，情報を収集し分析する能力を身に付けさせる。
		人種・民族問題	<b>【意識】</b> ・地域に住む外国人による講演を通して，異なる文化や宗教を尊重する態度を身に付けさせる。
		日本の国際貢献	<b>【スキル】</b> ・日本の国際貢献のあるべき姿について小論文にまとめることを通して，幅広い視点から物事をとらえられる能力を身に付けさせる。